

立教186年
活動方針

「教祖のひながたを目標に
全教会心定めの達成」
めどら

◇4月 教組誕生祭・婦人会総会◇

今年はコロナウイルスによる人数制限が解除されました。
1人でも多くの方をお誘いし、おぢばがえりさせて頂きましょう！
空港送迎などのご案内は5ページをご覧ください。

◇春の学生おぢばがえり◇

3月28日、本部中庭にて式典があります。
直属アワー、お楽しみ行事なども予定していますので、
学生さんのお誘いよろしくお願い致します。
※対象：高校生、大学生、専門学校生



大教会のHP がご覧になれます！
月報には掲載されない写真もいっぱいです！
ぜひ一度ご覧下さい♪



発行所
天理教網走大教会
布教部出版広報掛
〒093-0073
網走市北3条西6丁目
TEL 0152-43-2227
FAX 0152-44-2227

大教会二月月次祭

大教会二月の月次祭は、12
日午前9時30分から大教会長
祭主のもと、執行された。

大教会長は祭文で、親神様
の御守護に御礼申し上げた後、
二月は、初席者一名、よう
ぼく一名の御守護を賜りまし
たこと、心より厚く御礼申し
上げます。私共教会長をはじ
め、ようぼく・信者一同は、
いよいよ先月二十六日より始



岩井大輔先生

学生層育成者講習会

2月12日祭典終了後、引き
続き参拝場にて「学生層育成
者講習会」が本部学生担当委
員会より岩井大輔先生（櫻井
大教会・伊都分教会長）を迎
え開催された。

岩井先生は学生担当委員会
が掲げた基本方針「教祖を慕

まりました三年千日の限られ
た期間、一日一日を無駄にし
ることなく地道に一歩一歩積
み重ね、本年の心定め達成に
向け、教会がたすけ一条の抛
点として十分に定めを果たせ
るよう、まずは声がけに精一
杯努めさせて頂く所存でござ
います。」と奏上した。

その後座りづとめ・十二下
りのてをどりが勤められ、参
拝者は共に勇んでみかぐらう
たを唱和した。

◆育成とは恐れ◆

今から3年半前、青年会本
部の育成部で御用をつとめる
ようにと青年会長中山大亮様
から御命を頂戴しました。し
かし育成をしたことがない私
は意味すらもわからず途方に

暮れていたんです。そんな時
に父と一杯飲みながら話して
いると、父が育成っていうの
は恐れやぞ！って教えてくれ
たんです。その意味をよくよ
く考えてみると、今の私は、
あの人の笑顔素敵やなく、あ
の人も見えない所でコッ
コツみんなのためにつとめて
くれてるなくあんな風になり
たいなく尊敬するわ、素晴
らしいなくとそういった感情
を抱かせてくれる人に近づく
努力をしてきたはずなのです。
うちの部内教会の信者さん
に2人姉妹の子供さんがおら
れます。お姉ちゃんは中学3
年生、妹は中学1年生でした。
月次祭が土日だと家族揃って
参拝してくれていました。中
学生になった妹のわかちゃん
が、男鳴物から少しずつお琴
をつとめてくれるようになって
きました。もちろん初めは
おぼつかなくはなつたんですが、
お琴を始めてから約2年程
経った中学3年生になった頃
にはかなり上達したんです。
ある時、わかちゃんのお母さ
んに「土日しか参拝できない
数少ない中、たった2年でこ
こまでよく育てられましたね、

凄いです！家でも練習して
 んですか？」って聞いてみた
 んです。お母さんは「いえ、
 実はわかにお琴教えたことも
 ないんです。むしろ勧めても
 いないんです」って仰るので
 す。わかちゃんに「なんでそ
 んなお琴上手になったの？そ
 もそもなんで始めようと思っ
 たん？」って聞いてみたので
 す。すると「お姉ちゃんが中
 学に入った頃からお琴し始め
 て、凄いかっこいいなって
 思ってたん。わかも中学入っ
 たら絶対お琴やって上手にな
 りたいって思ってたん」って
 教えてくれました。お姉ちゃ
 んはわかちゃんにお琴しても
 らいたいとも、これっぽっち
 も思っていないせん。ただ、一
 生懸命月次祭でお琴をつとめ
 た、それだけなんです。私が
 憧れ目指してきた先輩方も私
 を育ててやろうと、意識して
 一生懸命つとめてたわけでは
 ありません。まさしくかっこ
 いい、素敵だ、あんな風に私
 もなりたいという心の産物だ
 と思うのです。

◆言葉の大切さ◆

教人資格検定に行かせても
 なかった時の本部員講話で「絶

対子供の前でご本部や大教会、
 上級部内の文句を言うな」と
 いう内容のお話を聞かせて頂
 いたんです。先生は某大教会
 の会長で本部員ですからおぢ
 ばの御用が盛りだくさん。疲
 れ果てて教会へ戻り、こんな
 ことあったあんなこと言いや
 がったと家で言うておられた
 そうです。そんなある日おぢ
 ばへ出発しようとして教会を出る
 先生を子供が呼び止めて「お
 父さんもうおぢば行くのやめ
 と、嫌いなおぢば行くのやめ
 いいやん」って言ったそう
 です。「いやいやお父さんは嫌
 いではないねんで」とその場
 で取り繕ってももう遅かった。
 それから子供とおぢばがえり
 しようとしてもなかなか帰っ
 てくれなかった。先生は「こ
 れはえらいことをしてしまっ
 た」と大変反省したそうです。
 そこから子供達がおぢばをま
 た好きになつてくれるまで相
 当頑張られた。そのお話しを
 聞いていましたので、私は絶
 対にご本部や大教会、もちろ
 ん部内教会や信者さんの文句
 も陰口も言わないことに決め
 ました。子供って今日はどこ
 行くの？どこへ行ってきた

の？ってよく聞くじゃないで
 すか、その時は必ず「大好き
 なおぢば、大好きな大教会、
 大好きな部内の教会やで」っ
 て言うようにしています。も
 ちろんそう思えない時もある
 のです。それでも大好きなっ
 ていうようにしていたら、子
 供たちも行きたい、連れて
 行って、今度は一緒に行くこ
 うって言うんです。子供がお
 ぢばや大教会が素敵な所なの
 だって感じて育つてくれるっ
 てとても大切なことだと思っ
 ます。

青年会本部に在籍させて頂
 いていた頃、人材育成の会社
 を運営されている吉川孝之さ
 んという方のセミナーを受け
 たのです。そしてその講義が
 終わって資料をトントンと片
 づける吉川さんが「皆さん、
 お疲れ様でした」朝から晩ま
 で僕の講義聞いて疲れたで
 しょう。今から教会帰られる
 のですか？で家着いたらなん
 て言うのですか？ああ疲れた
 っって言いませんか？言うで
 しょ？その気持ちはよくわか
 ります。でもね、よう考えて
 下さいよ。あなたが居ない間、
 教会を守ってくれた奥さんや

◆伝えるから伝えるへ◆
 私たちは若い人たちに、信
 仰の喜びを伝え、先々このお
 道の将来を託したいと常々に
 思い念じています。道の急務
 だともよく耳にします。しか
 しなかなか伝わらない。10あ
 れば1伝えるのも難しいと感
 じます。私は青年会時代、大
 亮様によく「伝える人から伝
 わる人になりましょう」と仕
 込んで頂きました。
 今から5年ほど前、私は学
 修のスタッフとしてつとめさ
 せて頂いていました。当時の
 塾長先生は大きな大教会の会
 長さんでした。その方と2人
 で昼食に行った時です。その
 日は日曜日でカレーの日でし
 た。私は幼い頃、両親が事情
 教会の復興に一生懸命に通る
 中を育ててもらいました。今
 日食べる物が無い中、私たち
 子供達にだけ端パンを食べさ
 せ、両親は水だけで何日も過
 ごしていたそうです。ですの
 で食べ物に対する仕込みはそ
 れはそれは厳しい物でした。
 「食べ物は命なんや、野菜さ
 んや、鳥さん、豚さん、牛さ
 ん、すべての命をもらつて人
 間の命がある。そしてこの世

界には食べられなくて死んで
 いく人だっている、命を大切
 にしよう」そんな風に教わっ
 たのを覚えていますので、私
 は食べ物大切にするといい
 のはこの誰よりもやっ
 り、できると自負していま
 した。カレーを食べ終わりごち
 そうさましようとしたら、塾
 長先生のお皿はもう洗ったの
 かというくらいキレイになっ
 ていたんです。そして自分の
 お皿を見た時に、うわ！自分
 よりも食べ物大切にしている人
 おつたり、凄いな！って感動
 したんです。しかもその相手
 が大きな大きな大教会の会長
 さん、雲の上の存在と思っ
 ていました、大教会長でも部
 内教会長でも一信者でもど
 んな立場でも、ようぼくとして
 教祖のように食べ物大切に
 することは同じなんだと、日
 頃からそうされているんだな
 っってもの凄く感動しました。
 それから、その方の言うこと、
 教えて下さること全部胸にガ
 ンガン刺さりました。実はそ
 れが現在の学生担当委員長清
 水慶政先生です。私は信仰の
 師とお慕いし、何かあつたら
 委員長長室のドアを叩いて、相

談しています。
 清水先生は私たちスタッフ
 にとにかく時間を作って、暇
 を見つけては教祖殿に参拝に
 行きなさい、教祖に会いに行
 きなさいと仕込んで下さいま
 した。それは過去に、先生ご
 自身が、ある本部員先生に「お
 ぢばまで帰ってきて教祖殿に
 足を運ばないということは実
 家に帰って、親の部屋に会い
 に行かないのと同じ事やで」
 と仕込んで貰ったという出来
 事があったからだということ
 でした。そしてそれから欠か
 さず教祖殿に足繁く通うよう
 になつて、教祖が段々と身近
 に感じられるようになってい
 きました。必要な時に必要
 人に出会わせてもらつたり、
 大切な言葉を聞かせてもらえ
 たり、きつとそんな風になつ
 てくる。先生の言葉を素直に
 受けて私はもちろんスタッフ
 皆が教祖殿へ教祖殿へと足を
 運びました。期間中はもちろ
 ん学生を引き連れて、教祖殿
 へと足を運んで運んでします
 ので、受講生からも「あんな
 に毎日、毎回教祖殿に参拝に
 行ったのは生まれてはじめて
 なんか教祖が凄く身近になつ

た気がする」との声が聞こえ
 ました。本当にその通りで私
 もあの学修から教祖殿に必ず
 運ぶようになり、教祖へお会
 いしに行かせてもらおう機会が
 増えました。年祭活動に入り、
 ご本部教祖殿だけではなく自
 教会でも朝夕のおつとめ以外
 でも1日に何度も教祖の前に
 座り、色んなことをご報告し
 たり、お伺いしたりしていま
 す。信仰が変わつたんです。
 信仰を変えて頂いたんです。
 伝える人から伝わる人になる
 ためには繰り返しになります
 が、やはり日々教祖のひなが
 たを通して頂くこと、かし
 ものかりものの理の世界の中
 で誠実を積み重ねていくこ
 とだと私は思っています。

◆学生生徒修養会◆

さてここからは具体的に学
 生生徒修養会のお話しをさせ
 て頂きます。結論から申し上げ
 ます。「学修に一人でも多
 く送り出して下さい。ダメ元
 でも結構です。お声をかけて
 頂きたいのです。」
 声をかけるって本当に大切
 なことだと思えます。こちら
 は声をかけさせてもらうのが
 御用、我々のつとめであり、

参加するしないは神様の世界
 だと思えます。とにかく本人
 と神様とを繋ぐパイプ役に徹
 する努力をさせてもらうこと
 が先々の楽しみなんです。
 私たちは若者に道の将来を
 託したい、だから信仰の喜び
 を伝えたいといつも願つてい
 ます。でも世代間ギャップも
 あるし、最近の若者の考え方
 はわからなくて声もよく聞き
 ません。でも安心して下さい。
 学修があります。若者は若者
 の中が一番成長します。凄
 いです。よ学修マジックは、「ひ
 のきしんなんてなんでさせら
 れなあかんねん」って言って
 た子が、ニッコニコしてひの
 きしんに励みます。「おつと
 め嫌いや」と言ってる子がお
 つとめを勇んでします。「自
 分は教会育ちで不幸や」って
 言つてた子が「教会で育てて
 もらつて幸せや」って帰って
 いきますから。本当です。で
 もそのマジックもまあ帰って
 きて3日もしたらその魔法が
 とけます。私がそうでしたか
 ら保証します。でも学修が素
 晴らしいのははつきり覚えて
 る。忘れないのです。そんな
 子がいっぱい居て、社会に出

たり、結婚したりして人生に
 困った時、迷った時、どうし
 ようもなくなつた時、そのこ
 とを思い出しておぢばへ帰っ
 てくるのです。そしておぢば
 で必要な人に再会したり、新
 たに出会つたりして助かって
 いくのです。魂に助けのしる
 しをつけてもらつて段々と幸
 せの方へと引つ張つてもら
 うのだと思えます。このしるし
 が大切なのです。1回声かけ
 たら神様1つしるしをつけて
 下さいます。2回声かけたら
 2つのしるしなのでしるしな
 のでしょうか。それは神様の
 領域ですからわかりませんが、
 でも絶対ゼロでないというこ
 とが大切だと思えます。ゼロ
 は教祖も引つ張りようがあり
 ません。1でもしるしがつい
 ていたら2でも3でもして下
 さいますが、ゼロは手の出し
 ようがないんです。
 1回の声かけで学修に参加
 してくれる子もいるかもしれ
 ません、参加してくれるのに
 7年かかる子もいます。もし
 かしら50年かかる子もいる
 かもしれません。50年の子は
 今生には間に合いませんよね。



参加者大人13名、子供9名
計22名

お話し会・節分行事

2月4日、10時から2、4号室にてお話し会、引き続き11時から3階会議室にて節分行事が行われた。

お話し会は昨年より開催されており、今回で7回目となる。今年から基本は毎月第1土曜日に開催される。

今回は節分が近いということで引き続き節分行事も行われ、お年寄り、子供が入り交じり鬼に豆をぶつけて追いつい、撒いたお菓子を皆で拾った。その後、大カルタ大会が行われ、上位者には景品が渡された。昼食には恵方巻を頂いて解散した。



参加者大人11名、子供14名
計25名

詰所節分行事

2月5日、17時から詰所ロビーにて節分行事が行われた。本物そっくりな鬼に大泣きする子もいたが、皆で豆をぶつけて鬼退治をして楽しんだ。夕食には皆で恵方巻を頂いて解散した。



参加者大人9名、子供10名
計19名

網走湖・ワカサギ釣り

2月11日、育成部主催の「ワカサギ釣り！in網走湖」が開催された。

今年は不漁ということもあり、釣れるかどうか不安だったが、全部で50匹近く釣ることができた。初めての経験に子供達もたくさん釣れて喜んでいった。

網走大教会
立教186年 4月18日
— 婦人会おかえり講話 —
網走詰所大広間 17時

『教祖の
ぬくもりを
求めて』

講師：岡田 康秀 先生
（双基島大教会 瀬居島分教会）

◎昭和34年 奈良県 桜井市生まれ
◎天理高等学校・天理大学卒業
◎天理教海外部、教化育成部を経て、現在は布教部庶務課基礎講座事務局にて勤務、講師を兼任
◎天理高等学校、天理教学校園高校などで非常勤講師
◎本部役員

企画：おたすけ委員会

～ 4月 おぢばがえり 団参 関空便ご利用案内 ～
日程：4月17日（月）～4月20日（木）

①網走→千歳（バス）、千歳→関空（飛行機peach便）利用コース
（往）4/17
7:30 14:00 15:20 (peach) 17:40 19:20
網走大教会発 → 新千歳空港着 → 新千歳空港発 → 関西空港着 → 網走詰所着
（復）4/20
7:00 8:10 9:00 11:00 17:30
網走詰所発 → 関西空港着 → 関西空港発 → 新千歳空港着 → 網走大教会着

②女満別→千歳→関空 飛行機利用コース（ANA、peach乗継便）
10:55 (ANA) 11:45 15:20 (peach) 17:40 19:20
女満別空港発 → 新千歳空港着 → 新千歳空港発 → 関西空港着 → 網走詰所着
（復）4/20
7:00 8:10 9:00 (peach) 11:00 13:20 (ANA)
網走詰所発 → 関西空港着 → 関西空港発 → 新千歳空港着 → 新千歳空港発 →
14:05
女満別空港着

※上記以外で送迎バスをご利用される方は、往路（関空18:10）出発、復路（網走詰所7:00）出発になりますので、各自事前にお申込み下さい。

【お問い合わせ】 網走大教会布教部 細木善信（携帯 090-2072-6130）

教祖は「一代と思えば頼りない、末代の道やもの」と教え下下さいました。来生もあります、その次だつてあります。網走の道はずっとずっと続いていきます。声をかけた子が学修に参加してくれるかどうかではなく、末代かけて助けて頂けるしるしをつけてもらうために私達の声かけが必須だということですよ。

どうか学修を多いに、そして広く繋ぎのツールとしてご活用頂きますようお願い申し上げます。

◆育てる側の強い意志◆

真柱様は学担発足三十周年記念の担当者大会の席に於いて「道に外れたる心で育てようと思うた処が育たん。」（明治33・1・4）というおさしづを用いて「人を育てる側の強い意志がなければなりません。そして、何よりも育てる者の心の置き所が問われます。どのような人に育てたいのか、何を伝えたいのか、あやふやなことでは、育てられる側も困惑するのであります」とお話し込み下さいました。おさしづや真柱様のお言葉のようにお道の教えという枠の中

はつきりとなつてもらいたい、こうするんだと言葉や態度、姿や行いをもって信仰を伝え育てていく強い意志が大切なのです。

◆よろづつなぎの守護、御供の素晴らしさ◆

伊都分教会には41才の私より若い教会長子弟が50人以上いますが、誰一人として信仰から切れたり離れたたりしている子はおりません。みんな繋がっています。私より若い教会長さんが4名いるのを筆頭に本部勤務者や大教会青年、それぞれ会社で働いている者も皆、所属教会の月次祭には休みをとってつとめてくれます。伊都の月次祭や霊祭が土日と重なると、同窓会みたい

らつてます。久々に夫婦くつついて2人乗りしてたらなんか昔を思い出してさらに仲良くなつてきました。」2日に1回のお風呂にさせてもらったらそれが楽しみで楽しみで家族みんなでお風呂に入つて子供も喜んでこつちもありがたいです。」させられてない、喜んで通つておられる。櫻井大教会は年に4度御恩報じの仕切り月があり、12月の仕切りは特に目いっぱい御供をさせてもらうつていう良い風潮です。私が大学生だった頃の話です。うちは22日が月次祭で、12月は直会が大忘年会です。かなりこわもてで見まつたお道の人には見えないような会長さんがおられるんですが、お酒も進み酔っ払つてきたら、突然「お前ら精一杯御供させてもらつたんか！ほんまか！財布だせ！」つてその場における人の財布チェックし始めたんです。「お前まだお札入つてるやないか！」つて没収されます。待つてくれ言うてもあかん！つて取り上げられるんです。お前もやないか！つて全員が取り上げられて、それで

終わつたかと思いきや、そのこわもての先生だけまだチェック残つていますよね、先に没収されたみんなが先生の財布の中見たら結構入つてたんです。「待つてくれ。それは支部のお金や！」つて言つてもみんなの恨みがこもつていますから、有無も言わさずもなく大教会へ運ばれました。みんな大笑いでした。もう何も無い。あとは神様任せました！つてな具合です。そんな神様にもたれきり安心し喜んでる親の姿を子供達は見ています。させられていない、喜んで励ましかつて高め合つて信仰する姿を。お金がない、物が無いとかではなく、今日も学校行けるよね、今日も元気で兄弟仲いいよね、これも全部神様に守つてもらつてるからなんだよ。ありがたいね、嬉しいねつていうのが生活から、親の姿から滲み出ているのを子供達は肌で感じているんだと思います。まさしく教祖のひながたを辿つておられる。だから子供達もよく御供をしてくれます。皆様に貧乏して御供し

て下さいとお願ひしているわけではありません。只々くさづちのみこと様のご守護の世界は本当に本当に素晴らしんです。金銭縁談よろづつなぎ、絶対間違いない。先々子供達がこの教えに繋がつていくには、私たちが親神様に繋ぐことで親神様が若者を繋いで下さるのだと、御供は絶対に間違いないと私は確信しています。

おさしづに「育てば育つ、育てにや育たん」（明治24年3月23日）とあります。育つとは変えることだと思ひます。言葉を変え、表情を変え、考え方を替える、受け取り方を変える、行いを変える。「育てる者が育つことによつて、初めて人を育てられるのであります。」と教えて下さつた真柱様のお言葉を信じ、まず自らが育つ努力を一生懸命にさせて頂きたいと存じます。



動 静

◎出 直

▼旭網分教会ようぼく光瀬幸子様は2月23日出直された。享年89歳。葬儀は2月24日みたまうつしが、翌25日告別式が網走ベルコ会館にて、栗林徳正・旭網分教会長齋主のもと執行された。

◎年 祭

▼網新分教会所属、新川留治様の50年祭が、2月2日、網新分教会にて、新川正美・網新分教会長祭主のもと執行された。

2月人のご守護

○初席者 (2名)

直 轄 ブロック千 弘
網 昇 渡 邊 勝 也

○別席傍聴願 (1名)

育英会寄付者

新川正人様 (父50年祭)

合格おめでとう

天理高校1部

直 轄 浅 田 心 優

網 次 安 田 桃 花

神奈川県立茅ヶ崎北稜高校

直 轄 瀬 川 千 陽

天理高校II部

網 新 新 川 来 暉

天理教校専修科

網 新 新 川 功 汰

大教会2月の動き

1日 役員会会議

4日 大教会創立の日。お話し会・節分行事

5日 縦の伝道日

9日 網走支部例会会場

10日 役員会会議

11日 教祖140年祭網走おたすけ委員会会議

12日 月次祭。学生層育成者講習会。役員会会議。連絡会

13日 修養科事前研修会体験講習会。修養科事前研修模範講習

15日 縦の伝道日

16日 会長、札幌方面直轄まわり(18日まで)

17日 支部婦人会例会会場縦の伝道日

19日 会長、おぢばがえり。詰所23会

23日 会長、本部神殿奉仕つとめる

24日 会長、本部神殿奉仕つとめる

25日 会長、本部災救援会議出席

26日 本部月次祭遙拝。会

27日

長、教区主事会出席、災救援主事研修会参加(27日まで)。結城和広役員、本部神殿奉仕つとめる。細木善信役員、本部神殿奉仕つとめる。

立教186年人のご守護心定め			
初席者	ようぼく	修養科修了者	教 人
69名	44名	34名	21名
成 果 (2月末現在)			
3名	1名	0名	0名



教祖140年祭

教会名	初席	中席	ようぼく	修卒	教人	婦参者		教会名	初席	中席	ようぼく	修卒	教人	婦参者	
						当月	累計							当月	累計
直轄	1					7	16	誠央						1	3
美幌							1	常道							1
女満別						3	6	徳道						2	4
斜里							0	満金							0
釧厚							0	網安							0
武士							1	オホーツク							0
常呂			1			1	7	網徳							0
旭網							1	栗沢							0
御料							0	徳元							1
東藻							0	網盛							1
陽光							1	網新						4	5
呼人							3	網葉							0
誠陽		1				1	2	網陽							1
網栄							0	誠網	1						2
實東						1	5	網次							2
東網							0	網昇	1						5
宗稚						2	3	勇走							3
								詰所							4
															11
															11
初席	2	3						修卒							
中席								教人							
ようぼく			1					婦参者							
修卒						1		当月							43
教人								成果							87

2月 月次祭 2/12(日)					
(参拝者数 約90人)					
神楽講話	賛 者	指図方	扨者	祭主	祭 員
	遠清水三新岩 藤澤水澤川原	丸山	三幣細木	大教会長	祭 員
	浩知春正 二幸雄美繁	一徳	敦善信		
胡三	小す太拍ち 味琴りがん笛	地	てをどり		祭 典
弓線	が鼓ね鼓ほん	方			
藤栗山	三結栗桐澤大 井崎城林谷田山	青瀬細川	三幣大丸新大	祭主	座りづとめ
道聖篤	正和徳厚忠雅 志広正平和人	正定善信	輝子入	正人長	
藤澤斎	遠遠三桐吉菅 山田藤幣谷村原	田小在	大三三安清小	祭主	前 半
真裕知	眞明敦善光明 理子明広志広正宏	敏道繁文	山澤谷水松	由泰美し信篤	
新三幣	岩瀬奥藤三永 川原川野井澤井	三安新	菅瀬清清眞	幣田川	後 半
栗幣林	定直広春康 千美直志雄幸	正光正	真有祐浩正	子直美	